

## 信州大学とイオン液体を利用した 再生セルロース繊維の紡糸プロセス確立に関する共同研究を開始

広栄化学は、国立大学法人信州大学繊維学部 後藤康夫教授と当社イオン液体を活用した再生セルロース繊維の紡糸に関する共同研究を開始いたしました。

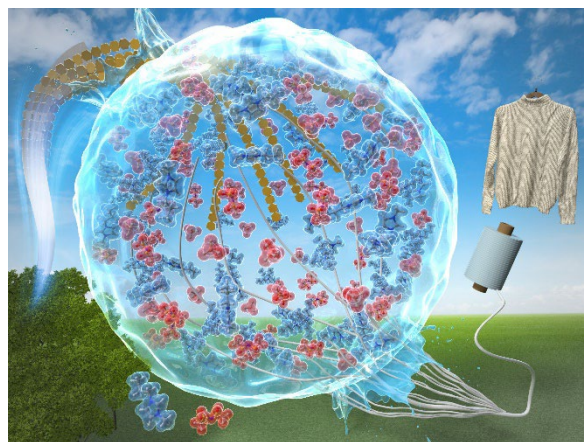
バイオマス資源の一つであるセルロースを用いて作られた繊維は、サステナブルな素材として衣類などに展開されており、今後、更なる活用が期待されています。

当社は、昨年5月のニュースリリースにおいて、室温という温和な条件において20%以上の高濃度でセルロース(※)を溶解できるイオン液体(「KOELIQ-SL01」)の開発に成功したことを公表いたしました。本イオン液体を使用することで、セルロース繊維の紡糸プロセスにおける安全性向上や環境負荷低減を見込んでおり、かつ、従来の再生セルロース繊維と同程度の強度を有していることを確認できています。また、当社は、本イオン液体の量産化プロセスに目途をつけており、顧客へのサンプル提供を開始しています。

(※本評価に使用したセルロースは微結晶セルロース Avicel®です。)

信州大学では、イオン液体を用いたセルロース繊維の作製(紡糸)および評価を精力的に行っており、本共同研究において、当社が提供するイオン液体を用いて作製したセルロース繊維の物性(強度や伸度)を評価いたします。当社イオン液体を利用した紡糸プロセスが確立されることにより、安全性に優れ、環境負荷を低減できるプロセスを提案できることと期待しています。

当社は今後とも、資源循環プロセスに貢献できる製品の開発を通して、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



以 上